

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

(令和7年2月1日～令和7年3月31日)

匿名希望者 9名

寄付金(令和6年度)累計額 1,042,270円

忘

年

会



生活介護事業所リアン 平野リーダー

令和6年12月28日(土)、一年の締めくくりとして忘年会を実施しました。午前中は、新年を迎える準備として、一年間の感謝を込めて、日頃よく行く公園、そして各班の活動場所をみんなで協力して清掃しました。寒さに負けず、エアコンのフィルターを水洗いするなど、熱心に取り組む姿が見られました。昼食は、和食レストラン「さと」で各自が選んだ料理を楽しみました。レストランでの食事に、皆さんとても美味しく笑顔を見せていました。午後からは、各班の部屋で好きな音楽に合わせて体を動かすゲームに参加し、楽しそうに踊っていました。最後に、年末恒例の行事として年賀状作りを行いました。今回は、自分のためではなく、お世話になった人に年賀状を出す体験です。職員手作りの大きな年賀状に、それぞれが好きな絵やメッセージを書き、同じく職員手作りの郵便ポストに、来年を楽しみにしながら投函しました。一年最後の行事として、充実した一日となりました。



生活介護事業所こんふおーと 森川リーダー

令和7年1月6日(月)、「遊び」をテーマに新年会を開催しました。全体行事では、利用者様がそれぞれお気に入りの遊びを選んで参加できる楽しいプログラムが組まれました。昼食は、「かごの屋平野区役所前店」で、個室とテーブル席を貸し切りにして、利用者様全員が一堂に会しました。事前にアンケートで選ばれた好みのメニューを堪能し、皆さん笑顔で、食事のひとときを過ごされました。

午後の予定は初詣でしたが、あいにくの天候悪化により、新館では「カラオケ大会」が、本館と別館では「福笑い」や「書き初め」の活動が行われました。カラオケ大会では、事前にアンケートを実施し、歌いたい方々が新館に集まり、選んだ曲を順番に披露しました。聴いている

方々も、リズムに乗って体を動かしながら楽しんでいました。

書き初めでは、汚れを気にせず利用者様に自由に表現していただきたいと考え、墨ではなく水で書ける半紙を準備しました。また福笑いも大勢の利用者様が積極的に取り組み、これらの活動は自立課題にも有効であると考えられるため、日常の活動にも取り入れていきたいと思えます。

この新年会は、利用者様にとって充実したひとときとなり、楽しい思い出を皆で共有する貴重な機会となりました。



新

年

会



編集

後記



春の訪れと共に、心躍る季節がやってきました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。たんぼぼ通信春号をご覧いただき、ありがとうございます。年度の締めくくりとなるこの号では、私たちの活動の振り返りと、新たな年度への期待を込めた内容をお届けしました。新年度が始まるにあたり、私たちの目指すべき方向性や目標を再確認し、よりよい支援を提供できるよう邁進していきます。皆様と共に、明るい未来を築いていけることを心より楽しみにしています。最後に、春の訪れと共に、皆様の心に温かい光が差し込みますように。今後とも「だんでらいおん」と本誌「たんぼぼ通信」をよろしくお願いたします。(担当 森・池田)



No.45

特定非営利活動法人 だんでらいおん

たんぼぼ通信

障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる
共生型の施設作り及び地域社会を目指して

令和7年春号

発行元：特定非営利活動法人
だんでらいおん
発行責任者：久保 哲哉
〒546-0023
大阪府東住吉区矢田5-9-8
TEL：06-7668-1101
発行日：令和7年5月1日

令和7年度に向けて

法人本部 統括施設長 辻 正晃



今回は「令和7年度に向けて」というテーマをいただきましたが、まずは報酬改定後の所感について述べさせていただきます。生活介護事業所では、基本報酬が「営業時間の設定」から「サービス提供時間の設定」へと変更されました。以前から営業時間の設定に異論がありましたが、「送迎≠支援」については、強度行動障がいや有する方々を支援する立場からすれば、いまだに納得がいきません。送迎ドライバーや添乗支援員がただ乗車しているだけでなく、車両内外で利用者様の安全に配慮して送迎している奮闘ぶりをぜひ見ていただきたいものです。また、利用定員による基本報酬も見直されました。20名定員の設定から10名定員の設定が行われ、利用者様へのより手厚い支援や、障がい者支援施設からの地域移行（現在当法人は大阪市の施設入所者地域生活移行促進事業に参画しています）の促進などに繋がるため、事業所再編を検討していましたが、これは多機能型生活介護事業所が対象でした。これまでの当法人の事業展開による既存の施設で、10名定員の対応が可能なので残念ではありますが、前述の通り、地域移行を含めた、より良い支援の担い手となるために次回の報酬改定に期待しています。

令和3年度の障害者総合福祉推進事業として、強度行動障がい者支援に関する中核的な人材の養成が研究され、令和6年度より強度行動障がいや有する児者の受け入れ体制の強化を図るため、チームで支援を行う際の中心的な役割を果たす人材として位置付けられた「中核的人材」の養成研修が始まりました。受講人数は段階的に増やしていくとのことですが、今年度は各都道府県から2名、全国で合計94名の少数精英の受講となっています。強度行動障がいや有する児者を支援している全国約1500の事業所の中で、当法人がこの研修を受講できる日がいつになるか楽しみにしつつ、受講要件を満たすよう準備を進めてまいります。

令和7年度は設立20周年の節目を迎え、共同生活援助の入居者様の大半も「みんなの家」での生活が20年となります。同時に高齢化だけでなく障がいの重度化や医療的ケアの必要性が急速に進んでいます。これに対応するため、日中における支援体制や施設設備の充実だけでなく、在宅生活者の緊急時に対応可能な短期入所、さらに新たなグループホームといった地域生活の支援体制や人材確保など、さまざまな面での整備が求められており、共同生活援助の類型変更を検討しています。

福祉とは言え、国の生存権にある「健康で文化的な最低限度の生活を営む」ととどまることなく、一人ひとりの生活スタイル・生き方を尊重し、QOL向上を追求し続け、その人の生涯をこれからも共に歩んでいきたいと考えています。



行動援護OJT研修報告

居宅介護事業所 主担 山下 雅史

令和6年度の行動援護の取り組みとして、実際に利用者様の余暇活動における支援（以下、ヘルパー活動）に従事し、ヘルパー活動における知識やノウハウを実地で体験し、具体的に理解することを目的としたOJT（On the Job Training）が行われました。利用者様の希望によるグループでのヘルパー活動は、月に1回土曜日に実施されました。

ヘルパー活動に従事する際には、経験豊富な先輩ヘルパーとの同行研修が行われていますが、ウォーキングでの短時間の研修が主であり、土日の長時間のヘルパー活動については未経験の職員が大勢いました。今回OJTという形のグループ活動が、ヘルパー職員に安心感をもたらし、経験の浅い職員も土日のヘルパー活動に参加しやすくなりました。現在では、これまで土日のヘルパー活動に参加できなかった職員も積極的に参加しています。

土日のヘルパー活動では遠方への外出

の機会も多く、鉄道会社によって異なる利用方法や、昼食時の対応等、注意すべき点があります。さらに、時間内にヘルパー活動を終えるためには、公共交通機関の運行時間を把握し時間管理を行う必要があります。OJTを通じて実際に体験することで、これらの知識を深め、理解を得ることができたと感じています。また、多様な目的を訪れることで、土日のヘルパー活動で利用者様と共に外出する楽しみを実感する事ができたとおもいます。

現在登録されているヘルパー職員は、OJTを通じて土日のヘルパー活動に必要なスキルを獲得し、今後はマンツーマンでのヘルパー活動もスムーズに行えることとおもいます。今後、新たに登録されるヘルパー職員に対してもOJTを実施することで、継続して土日のヘルパー活動に参加しやすい環境を作っていきたいと考えています。



クリスマス会

共同生活援助事業所 主任 柳澤 正博



令和6年12月24日(火)に、長居障がい者スポーツセンターにてクリスマス会を開催いたしました。

本年も前田孝司様からいただいたご寄付のおかげで、クリスマス会を盛大に実施することができました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

恒例となっているクリスマス会を、利用者の方々はとても楽しみにされており、前日には「プレゼントはなに?」「ケーキ食べたい」など、待ち遠しい様子が見受けられました。

午前のレクリエーションでは、『ジングルベル』『あわてんぼうのサンタクロース』『赤鼻のトナカイ』の3曲を合唱し、模造紙に描いた大きなクリスマスツリーに利用者様一人ひとりで飾り付けをしていただきました。

昼食には事前アンケートで選ばれたドミノピザとケーキ、ピザが食べられない方にはやよい軒のお弁当をご用意いたしました。お食事をお召し上がりになりながら、今年度の各種イベントや取り組みの写真・動画を収めたスライドショーをご鑑賞いただくことで、1年を振り返る貴重な機会となりました。

午後のレクリエーションでは、『釣って合わせて大

型パズル』と『〇×ゲーム』を行いました。大型パズルでは、職員の写真を釣り竿で釣り上げた後、班の皆様で協力しピースを合わせて完成させました。〇×ゲームでは、だんでらいおんやクリスマスにちなんだ問題、トリビア問題などに対し、皆様に〇と×の札を挙げて回答していただきました。

最後に、サンタクロース、トナカイ、雪だるまに扮した職員が登場し、利用者様一人ひとりにプレゼントをお渡ししました。今回のプレゼントは、屋外での活動やその他の外出時にご利用いただけるよう、肌触りの良いマフラーです。利用者様にもご満足いただけたようで、大変嬉しく思います。

利用者様からは、「パズルやクイズが楽しかった」「ピザやケーキが美味しかった」「マフラーが気に入った」とのお言葉をいただきました。職員からも、「利用者様の笑顔を多く見られてよかった」「抽選会やビンゴゲームがあればもっと良かった」といった意見をいただき、今後の課題や行事の参考にしてまいります。年末行事の第一弾として、充実したクリスマス会となりました。